



滝川市立高等看護学院

4月1日 新校舎開校

ふれあい

第55号

令和4年 5月20日
発行：滝川市立病院
滝川市大町2-2-34
(電話) 0125-22-4311
(編集) 広報委員会

令和3年3月より着工しておりました滝川市立高等看護学院の建て替え工事は、令和4年3月に無事、竣工を迎えました。

今年で開校54周年を迎える看護学院は、旧校舎の老朽化が激しく面積が小さかったため、令和2年から感染拡大が始まった新型コロナウイルス感染症への対応が難しい環境となっていました。

それを踏まえ新校舎では面積を旧校舎の約1.5倍とすることで、各教室にゆとりを生み出し、同時に、換気システムが整備され学生が安全に学習できる環境が整えられました。

さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い病院での実習ができない場合や学内でより臨床に近い状態で看護を学べるよう、実習室に最新モデル人形を導入しました。

また、これまでは別の場所で運営をしていた「滝川市立病院院内保育所ゆめみな」を新校舎内に併設することで、子育て世代の職員が今まで以上に安心して仕事に専念できるようになりました。



図書室



実習室



教室

滝川市立病院 お手軽健診検査メニュー

ご自身で気になる検査項目を気軽に手軽な料金で受けることができる「お手軽健診」を受けてみませんか。

各 550円

・血糖値・脂質
・肝機能・痛風
・貧血・すい疾患等
・腎機能・尿一般

各1,100円

ピロリ菌
動脈硬化

各1,650円

前立腺
骨密度

1,320円

3点セット
・血糖値
・脂質
・肝機能

各2,200円

甲状腺機能
ウイルス性肝炎

2,750円

内臓脂肪測定

※各料金は消費税込み

【受付時間】 平日10:00～16:00
【お問合せ・ご予約】 医事課医事係 ☎22-4311 内線1168

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、休止させていただく場合がありますので、ご了承ください。

滝川市立病院 各科診療時間のご案内

※ 正面玄関の開錠は 7:30 です。

※ 診療時間は予告なく変更となる場合もありますので、予めご了承ください。

電話番号：0125-22-4311

			午 前 診 療		午 後 診 療	
			(受付時間)	(診療時間)	(受付時間)	(診療時間)
内 科	一 般	月・火・木曜日	7:30 ~ 11:30	8:30 ~ 12:30	12:30 ~ 15:00	13:30 ~ 17:00
		水・金曜日			※要予約	—
	循環器外来	月曜日			12:30 ~ 15:00	13:30 ~ 17:00
		火・水・木曜日			※要予約	
		金曜日				
	神経内科外来	第1・第3金曜日		—		
	呼吸器外来	第1・第3木曜日				
	心臓外科外来	第2水曜日				
	血管外科外来	第4水曜日				
小 児 科	一 般		7:30 ~ 11:45	8:30 ~ 11:45	12:30 ~ 16:00	13:30 ~ 16:00
	神経外来	毎月1回 午前	※要予約	-	—	
外 科	一 般		7:30 ~ 11:30	8:30 ~ 12:30	※手術	
	乳腺専門外来	水・金曜日				
整形外科	一 般		7:30 ~ 11:30	8:30 ~ 12:30	※手術	
皮 膚 科	一 般		7:30 ~ 11:30	8:30 ~ 12:30	—	—
	予約診療	月・火・木・金曜日	—	—	※要予約	—
泌尿器科	一 般		7:30 ~ 11:30	8:30 ~ 12:30	※手術（火・水・木曜日）	
	予約検査	毎週月曜日	—		※要予約	—
	予約検査・腎不全外来	毎週金曜日				
	腎臓内科外来	第1 火曜日				
産婦人科	一 般	月・水・金曜日	7:30 ~ 11:30	8:30 ~ 12:30	-	-
眼 科	一 般		7:30 ~ 11:00	8:30 ~ 12:30	※手術（月・水・木曜日）	
	予約診療	水・木曜日	-	-	※要予約	—
	予約検査	月・火・金曜日	-	-		
耳鼻咽喉科	一 般	月・火・水・金曜日	7:30 ~ 11:30	8:30 ~ 12:30	※手術（木曜日）	
	予約診療	月・水曜日	-	-	※要予約	—
	予約検査	火・金曜日	-	-		
精神神経科	新患(予約診療)	月・水・木・金曜日	※要予約	9:00 ~ 11:00	—	
	一 般		7:30 ~ 11:30	8:30 ~		
麻 酔 科	一 般	月・火・水・木曜日	7:30 ~ 11:30	9:00 ~ 12:30	※手術	
	予約診療	毎週金曜日	※要予約	-		

～病院基本方針 3. 合理的かつ効率的な病院運営により、健全経営に努めます。～

この春、着任しました 新しく来られた医師のご紹介！

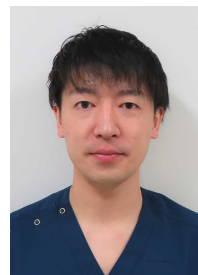
- ① 卒業大学
- ② 卒業年

内科



たかの よしなり
高野 善成
① 帝京大学
② 平成21年

斗南病院から赴任いたしました。少しでも皆様のお役に立てるよう頑張りますので、宜しくお願い致します。



みよし ゆうじ
三好 優史
① 旭川医科大学
② 平成31年

4月から循環器内科に赴任致しました三好優史と申します。滝川市の医療に貢献できるよう日々精進して参ります。何卒よろしくお願い致します。

泌尿器科



なかむら まこと
中村 誠
① 藤田保健衛生大学
② 平成28年

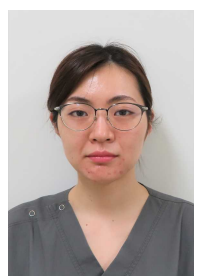
4月から泌尿器科に赴任いたしました中村誠と申します。昨年度は市立室蘭総合病院に勤務しておりました。患者様に寄りそった医療が提供できるよう精進して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

整形外科



しばやま ゆうじ
芝山 雄二
① 札幌医科大学
② 平成18年

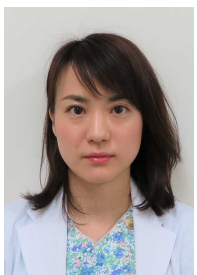
肩関節を専門とし、腱板断裂に対しては鏡視下腱板縫合、反復性脱臼に対しては鏡視下肩関節修復を行っております。また、最新のMRI撮影法を駆使し、肩に関する各種診断を行っております。肩痛にお困りの方は、外来を受診して頂ければ幸いです。



やまもと まいか
山本 麻衣花
① 札幌医科大学
② 平成31年

4月から整形外科に赴任いたしました山本麻衣花と申します。昨年まで札幌医科大学附属病院で勤務しておりました。滝川市の地域医療に貢献できるよう精一杯頑張りますので、宜しくお願い致します。

皮膚科



まや ゆか
真屋 由佳
① 札幌医科大学
② 平成26年

4月から皮膚科に赴任しました真屋由佳と申します。昨年度は帯広厚生病院で勤務しておりました。滝川市の医療に貢献できるよう頑張りますので、宜しくお願い致します。



じんぼ しゅんすけ
神保 俊介
① 札幌医科大学
② 平成20年

4月から整形外科に赴任しました神保俊介と申します。10年程前にも滝川市立病院に勤務していました。専門は膝関節です。また滝川の皆様に貢献できるように頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

眼科



かん しょうき
韓昇熙
① 北海道大学
② 平成30年

4月から眼科に赴任しました韓昇熙と申します。昨年度は帯広協会病院で勤務しておりました。滝川市の医療に貢献できるよう精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

麻酔科



さかの ともよ
坂野 知世
① 札幌医科大学
② 平成29年

4月から麻酔科に赴任致しました坂野知世と申します。安心して手術を受けていただけるよう尽力して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

新しく来られた 研修医のご紹介



はやし あきのぶ
林 亮将
① 東北医科薬科大学
② 令和4年

本年度より初期研修医として勤務させていただきます林亮将と申します。札幌南高校、東北医科薬科大学出身で、野球部に所属しておりました。6年ぶりの北海道で、ワクワクしております。

皆様のお力になれるよう、精一杯学び、頑張りますのでよろしくお願い致します。

睡眠時無呼吸症候群(SAS) ～かくれSASを知っていますか？～

—臨床検査科—

睡眠時無呼吸症候群（SAS）とは睡眠中に何度も呼吸が止まってしまう病気です。肥満体型の方に多く見られ、睡眠中に大きないびきをかくことがよく知られています。実際にSASと診断される方の6割は肥満体型の方です。肥満により、のどに脂肪が蓄積して気道が狭い状態で仰向けで寝るとさらに気道が狭まり大きないびきをかきやすくなります。これが悪化すると気道が完全に閉塞し呼吸ができなくなり無呼吸になります。睡眠中に何度も無呼吸や低呼吸を繰り返すと、睡眠の質が低下し熟睡できなくなるため、日中の眠気や疲労感を伴うようになります。



しかし、このような典型的なSASの症状にあてはまらない『かくれSAS』というものがあることをご存じですか？

実はSASと診断される方の4割は普通体型や痩せ型なのです。これらの方々は、のどの脂肪蓄積ではなく、①あごが小さい、②扁桃腺が大きい、③舌根沈下（舌根が重力と筋のゆるみによりのどに落ち込むこと）などが原因となり気道の閉塞が引き起こされます。また、SAS患者の約半数は日中の眠気の自覚がありません。つまり、SASは肥満体型の方や日中の眠気を感じている方だけに起きる病気ではなく、痩せ型の方や、女性や小児、高齢者を含む誰にでも起こりうる身近な病気なのです。

長期間に渡り、SASによる睡眠中の低酸素状態や眠気によるストレスが続くことで、頭痛や倦怠感などの症状の他にも、高血圧、糖尿病などの生活習慣病、動脈硬化や心筋梗塞などの循環器疾患の発症や増悪をまねく危険性があります。そのため、早期発見・早期治療が重要です。

SASの診断には、睡眠中の低呼吸・無呼吸の回数を調べる必要があります。まずは、ご自宅でも行える簡易検査を受けていただきます。ご自身で簡単に装着できる機械を取り付け、睡眠中の呼吸状態と酸素濃度を記録します。さらに詳しい検査が必要なときは、ポリソムノグラフィー（PSG）とよばれる検査を行います。PSGは呼吸状態と酸素濃度に加え、脳波、目とあごの動き、心電図の記録を行い、睡眠の質を調べる精密検査です。こちらは一泊の検査入院をしていただきます。朝目覚めたところで検査が終了するので、出勤前の退院も可能です。

SASの治療には、陽圧呼吸療法（CPAP）、口腔内装置療法（OA）、耳鼻科の治療（アデノイド・扁桃手術）などがあります。CPAPは中～重症例や眠気の強い患者様によく用いられる治療法で、睡眠時に鼻に装着したマスクから空気を送り込み気道の閉塞を防ぎます。いびきや無呼吸が軽減し熟睡できるようになるため、日中の眠気や疲労感の改善が期待できます。当院では耳鼻咽喉科医が中心となり治療を行っております。



（CPAP装着画像）



（CPAP装着効果画像）

『肥満じゃない』、『眠気がない』と安心してはいけません。ご家族から「いびきがうるさい」、「夜中に息が止まっている」などのご指摘をされた方、熟睡感がない方は、お気軽に耳鼻咽喉科外来へご相談ください。

